

鳥類

確認種

10目24科37種を確認しました。市内に生息する鳥類の特徴としては、スズメやハシブトガラス、ヒヨドリなどの、いわゆる「都市鳥」が多いことが挙げられます。また、市内の雑木林などには、アオゲラやエナガ、ツミなどの樹林性の種が生息していました。一方、カモ類やサギ類などの水辺の鳥は、多くはありませんでした。

希少種

国RDB掲載種を2種、都RDB掲載種を10種確認しました。

注目されるのは、オオタカとツミという猛禽類で、市内の生態系の頂点となる種です。特にオオ

タカは国RDBで準絶滅危惧となっています。

この他に、キツツキの仲間のアオゲラや開けた環境を好むカッコウやモズ、水辺に生息するオシドリやカワセミなどが含まれていました。

鳥類の目別の科数・種数

No.	目名	科数	種数
1	カモ	1	3
2	ハト	1	2
3	ペリカン	1	1
4	カッコウ	1	1
5	タカ	1	2
6	フクロウ	1	1
7	ブッポウソウ	1	1
8	キツツキ	1	2
9	スズメ	15	23
10	インコ	1	1
合計		24	37



オシドリ (国RDB: DD
都RDB: VU)



ツミ (都RDB: CR)



モズ (都RDB: VU)



カワセミ (都RDB: NT)



アオゲラ (都RDB: NT)



エナガ (都RDB: NT)

外来種

外来種は3種を確認しました。このうちガビチョウは、外来生物法で、特定外来生物に指定されています。武蔵国分寺公園で夏期に確認しました。また、ホンセイインコ（亜種ワカケホンセイインコ）は、外来種リストで、その他の総合対策外来種に指定されています。真姿の池周辺などで確認しました。



ガビチョウ (特定外来生物)



ホンセイインコ
(その他の総合対策外来種)

哺乳類・は虫類・両生類

確認種

哺乳類を1種、は虫類を8種、両生類を1種を確認しました。哺乳類は、樹林地を中心に、アズマモグラのもぐら塚を確認しました。は虫類は、住宅地等でも生息可能なニホンヤモリやニホンカナヘビなどのトカゲ類と、樹林などに生息するアオダイショウ、池などの水辺に生息するカメ類やヒバカリなどを確認しました。両生類は、冬期にニホンヒキガエル（亜種アズマヒキガエル）の卵塊を姿見の池で確認しました。

哺乳類の目別の科数・種数

No.	目名	科数	種数
1	モグラ	1	1
合計		1	1

は虫類の目別の科数・種数

No.	目名	科数	種数
1	カメ	3	3
2	トカゲ	4	5
合計		7	8

両生類の目別の科数・種数

No.	目名	科数	種数
1	カエル	1	1
合計		1	1

希少種

都 RDB 掲載種を、は虫類で7種確認しました。市内で確認したは虫類のほとんどが、希少種ということになります。市内では数少ない、池やその周辺の湿地、樹林地などが組み合わさった環境が、は虫類にとって重要な生息地になっていると考えられます。



ニホンスッポン
(都 RDB : CR+EN)



ヒガシニホントカゲ
(都 RDB : CR+EN)



ヒバカリ (都 RDB : VU)



ニホンカナヘビ (都 RDB : VU)



アオダイショウ (都 RDB : NT)



ニホンヤモリ
(都 RDB : * (留意種))

外来種

外来種としては、は虫類のアカミミガメ（亜種ミシシippアカミミガメ）を確認しました。本種は、外来種リストで、緊急対策外来種に指定されています。姿見の池や武蔵国分寺公園の池などで確認しましたが、それぞれ複数の個体が見つかっていて、繁殖の可能性や、水生昆虫をはじめとした、他の生物への影響などが心配されます。



アカミミガメ (緊急対策外来種)